

防災 だより

その79

年末大掃除で 『ついで防災』しませんか？

1995年の阪神・淡路大震災では、6,434人が亡くなり、その死因の約8割が家屋の倒壊や家具の転倒などによる圧死や窒息死でした。今後、発生が予想される警固断層による地震では、最大震度7の揺れが起こる可能性があり、家具や電化製品などが転倒・落下するおそれがあります。

いつか起きる地震に備えて、 命を守る対策をとりましょう。

・・・とよく聞きますが、対策はお済みですか？

令和6年度太宰府まちづくり市民意識調査において、「家具の転落・転倒防止策をとっている」と回答した市民の割合は33.9%と低い状況です。また、内閣府の防災に関する世論調査（令和7年8月調査）において、「家具・家電などの固定ができていない理由」の1位は「やろうと思っているが先延ばしにしています」となっている（38.3%）となっています。わかってはいるけれど、なかなか取り組みにくいですね。

『ついで防災』がおすすです！

年末大掃除にあわせた『ついで防災』

☑ 棚や冷蔵庫の上のほこりを掃除するときに『ついでに』家具・家電を固定しましょう。

☑ 危ないところにある（倒れたらドアをふさぐ、寝ているところに倒れてくる）家具・家電は、掃除で動かす『ついでに』配置を換えましょう。

☑ 窓ガラスを掃除する『ついでに』ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。

※転倒防止グッズ等はホームセンターやインターネットで購入できます。
詳しくは【家具 転倒防止】で検索を！



【震度7ってどのくらいの揺れ？】（気象庁震度階級関連解説表）

- ・這わないと動くことができない。飛ばされることもある。
- ・耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。
- ・固定していない家具のほとんどが移動したり、倒れたりし、飛ぶこともある。
- ・大きな地割れが生じたり、大規模な地滑りや山体の崩壊が発生したりすることがある。



年末特別警戒実施

太宰府市消防団による 年末特別警戒 を行います

太宰府市消防団が市民の防火意識や警戒心の喚起を図り、火災の発生を未然に防止することを目的として、12月28日(日)～30日(火)の夜間帯に年末特別警戒及び巡回防火広報を行います。

つきましては、この期間市内各所において、消防車両が警光灯を点灯させ広報活動を行いますので、市民の皆さまのご理解をよろしくお願いいたします。



太宰府消防署からのお知らせ

太宰府消防署 ☎(924)4119

12月になり、本格的な冬のシーズンを迎え、ストーブを使用する機会が多くなります。また暖房器具による火災は、毎年出火原因の上位に入ります。



ストーブの取扱いは十分注意しましょう！

●安全に取り扱うために

- ・使用前：取扱説明書に沿って点検する。
- ・給油時：必ず消火し給油する。こぼれた場合は拭き取りを忘れない。
- ・周囲：カーテンや洗濯物などの近くに置かない。
- ・外出・就寝前：完全に消火できているか、確認の声かけを徹底する。

ストーブ火災を防ぐポイントを確認しましょう！